

# 青龍だより



## 創立 120 周年記念式典

10月24日(土) 本校体育館で, 創立120周年記念式典が挙行されまし た。コロナ禍の影響により、三密に配慮し規模を縮小して行いました。会場での参 加は、生徒会役員などにとどめ、多くの生徒は教室からリモートでの参加となりまし







歴史を刻む益習の新時代 ~青龍よ永遠なれ~

テーマの上段を作成した1-3 梶雪菜さん(生瀬中 出身) とテーマの下段を作成した 1-3 髙倉理斗さん (笠原中出身) が、大久保太一実行委員会会長 より表彰されました。



創立 120 周年記念式典で生徒会長としてあいさ つができたことは、とても貴重な経験でした。先輩方が作ってきた伝統は本当に素晴らしいものだと改めて 実感することができました。この伝統を引き継いで,ますます太田一高を盛り上げていきたいと思います。 生徒会長 2-1 髙岡優璃さん(太田中出身)





正面玄関の上部 に, 記念品として, 高校と附属中学校の 校章を設置しました。

## 生徒面談期間

#### 10月7日(水)~12日(月)



3 年生にとっては進 路決定の最終段階と なりました。進路希望 とこれからの学習計画 について確認しました。

パソコンを使って、 生徒本人の成績状 況と希望進路先の入 試データを慎重にチェ ックしています。





総合型選抜や学校 推薦型選抜, 員試験等を受験する 生徒には、入念に面接の練習を行います。

## 教育実習

#### 10月12日(月)~29日(木)

今年度は、11名の教育実習生を受け入れました。全員、本校の卒業生です。 例年は6月に行いますが、今年度は、コロナ禍の影響で10月実施となりました。 在校生にとっても、いろいろな面でよい刺激となりました。



先生方, そして生徒の皆さんにたくさん助けられた3週間でした。この経験を 今後に生かしたいと思います。 星野楓奈さん(英語)

(大宮二中出身)





教えることの難しさを改めて実感しま した。今回学んだことを成長の糧にし、 日々精進していきたいです。 萩谷俊介さん(地理)

(太田中出身)



## 先生からのメッセージ

#### ~Messages from Teachers~

毎日,特別棟の4階から,旧講堂(現資料館)を眺めています。国の重要文化財でもある講堂は,四季折々に美しい。誕生は1904年(明治37年)なので,現在116歳。ご長寿です。竣工当時は,日露戦争の最中。その後,スペイン風邪や幾多の困難にも,先輩方とともに耐えてきた講堂。"コロナにも負けるなよ"と,そっと見守ってくれているような気がしています。 (庶務部長 飛田博昭先生)



### 11 月号

(2020年11月1日発行, No.17)

常陸太田市栄町58番地 TEL:0294(72)2115 FAX:0294(72)2119







中学 Web ペ

#### PRINCIPAL'S SOLILOOUY "A perspective of our ALT on Japan II"

Following the last month's issue, I'd like to introduce some of the hardships or barriers our ALT Heather experienced. Anyone who goes abroad to live and work is likely to face similar ones. The reason why I'd like to bring this topic up is that I hope lots of you, my fellow students will make the whole world your stages and be



active in the global society. I firmly believe you can have vicarious experiences from hers and learn a lot. Now let me show you her stories.

M stands for Morita, H stands for Heather

M: What are the biggest obstacles you have faced so far?

H: One of the biggest obstacles I have faced is missing my friends and family back in the States. We are lucky we can use Skype. Unfortunately, sometimes we can't talk for weeks due to the time zone differences. Feeling lonely is very common when you travel. Call your family and friends frequently!

Another challenge has been the language barrier. It has gotten easier since I've studied but I do use Google translate often. It's very fun and rewarding when I can read the Kanji for my train.

I also miss the different varieties of food I can eat back in the States. I love Japanese food but I do miss foods like burritos, hamburgers, pad thai, lasagna, barbecue, pizza, chili and corn bread. I've found some shops that sell some of these things and I'm grateful for that. In summary, I would say that traveling and living overseas is a fantastic experience. You'll meet so many wonderful people and eat such great food. You'll learn so much about the world. The more you learn English the more you'll get out of the experience. Learning a new language is like a personal journey with the rewards being priceless adventure and friendships for life. Some parts will be difficult but trust yourself to overcome obstacles and plan ahead before you travel. I hope you all continue your studies and make the leap overseas.

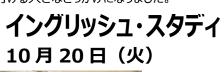
My fellow students, now is the time to make your goals the priority and put it into action with the spirit of I'm GAME! At the same time carry out what the acronym GAME implies. That is, of course G(元気に), A (明 るく),M (前向きに) and E (enjoy), as you all have already known.

グローバル社会で活躍できる人材になって欲しいと願って 君達に先月号に続いて、本校 ALT ヘザー先生の異文化生活体 験に係る困難と対処方について語ってもらいました。ヘザー 先生はどんな困難に遭遇したのでしょうか。またどのように 対処したでしょうか。最後に皆さんへどんなアドバイスをし てくれましたか。参考にしてください。



## 科学講演会 10月9日(金)

県立中学校の柱の一つである科学教育の-環として,「科学講演会」を実施しました。講師 は, 元新潟大学脳研究所准教授の鈴木清隆 副校長です。生徒たちは脳の仕組みや働きにつ いて学ぶだけでなく、科学的な見方・考え方を身に付ける大きなきっかけになりました。





今年度開校の県立中学校 5 校の生徒と ALT による英語交流「イングリッシュ・スタデ ィ」を実施しました。午前中の人間関係づくり ワークショップと 5 名の ALT との英語プログラ ムの後,午後からはオンライン (テレビ会議 形式)で各校の特徴や地域の魅力につい て英語で紹介し合い,交流を深めました。

#### 令和3年度入学者選抜出願書類等 交付中

交付期間: 令和2年10月13日(火)~11月30日(月) 交付場所: 本校事務室(本館正面玄関入ってすぐ)



附属中学校より